

新方川の橋（宮野橋と定使野橋）

瀧田 雅之

新方川とは春日部市増田新田とさいたま市岩槻区大戸の境界を起点とし越谷市中島にて中川に合流する総延長十・九キロメートルの一級河川であり、越谷市の北東部を貫流しています。古くは「千間堀」と呼ばれ、大正五年に「新方領堀」となり、現在の名前「新方川」になったのは昭和四十年です。今でも流域の地元では「千間堀」の名前で親しまれています。新方川は中川低地を流れる排水専用河川（悪水路）であり合流する川や排水路が非常に多く、現在でも度々流域の湛水被害があります。

昭和五十七年と六十一年には国の河川激甚災害対策特別緊急事業に指定され川幅の拡幅や調節池の建設、新たな橋の架け替え事業が行われました。大吉には新方川の水量をコントロールすることを目的とする洪水調節池も設けられています。

【宮野橋】

昭和六十年に河川激甚災害対策特別緊急事業により、架け替えられた橋の一つに「宮野橋」があります。

この「宮野橋」は古くは「定使野橋」と呼ばれていました。このあたり一帯はかつて増林村定使野と呼ばれる集落で「定使野橋」はその時の集落の名前を取ったものと思われまます。現在の野田街道に架かる「定使野橋」は後年になって新たに架設された橋です。

昭和五年に土橋だった橋をコンクリート橋にかけ替えたときに「宮野橋」と呼ばれるようになりましたが、その由来は「千間堀」の左岸の地名「宮田」と右岸の地名の「定使野」を結ぶ橋として両方の地名から一字ずつ取り、「宮野橋」となったと地元では伝わっています。

越谷市郷土研究会の加藤幸一氏の調査によると、かつて宮野橋から増林の浅間神社（現在の護郷神社）まで「宮の道」と呼ばれた小道が続いていました。

そして「浅間神社」と「宮田」との間には何らかの関係が推測され、事実、かつては神社を維持する費用として宮田からあがる収穫物の米や野菜を浅間神社の祭礼に毎年奉納していました。

「宮田」と呼ばれる地名は「宮の道」に由来し「宮」とは「浅間神社」を指すものと思われまます。「宮の道」も花田地区の区画整理以前は宮野橋の西側約二百メートル先で古い街道である野田街道（県道越谷野田線）から鋭角に分岐しており、大沢方面から人と物を浅間神社へ導くために造られた道と推測できます。

【定使野橋】

宮野橋の上流側に野田街道（県道越谷野田線）が新方川を跨ぐ橋として「定使野橋」があります。この橋は前述した「宮野橋」の古い呼び名である「定使野橋」とは全く別の橋であり、結果として名前が引き継がれた事に双方の橋に移設等の関係性はありません。

かつての千間堀は葛西用水（逆川）の下を樋管により伏せ越して下流に向かっていたが、昭和五十七年の河川激甚災害対策特別緊急事業と同時に行われた花田土地区画整理事業により昭和六十年に潜る上下を逆転させた際に初めて掛けられた橋です。（橋の完成は昭和六十二年）

従来の野田街道は定使野から前波（現在の新大吉橋近辺）まで現在のような起伏はなく、定使野の土地の高さの状態のまま松伏方面に至っていました。葛西用水（逆川）も古利根川から分岐した後、前波の水神社近辺から現在の定使野公園の辺りまで野田街道と完全に並行して流れており、新方川はその下を樋管で伏せ越していました。

よって今のような橋は存在しておらず、地元でも橋として認識されていなかったようです。昭和元年に定使野にて生まれた女性（現在幸手市にてご健在）や地元の高齢の方に聞いてみても、ここに橋があったと認識していた人はいませんでした。

現在は葛西用水（逆川）が伏越施設により新方川を伏せ越しています。

現在の「定使野橋」の名前の由来は。一説には昭和六十年に現在の場所に橋を造る際に、当時の越谷市長の島村慎市郎氏の地元の地名を後世に残そうとの発案から始まったという話も伝わっています。（当時の花田土地区画整理審議委員談）

越谷市郷土研究会の秦野秀明氏の近世後期の絵図の調査により「葛西用水（逆川）」を伏せ越した旧大吉村と旧増林村の境界より上流部を「上千間堀」、下流部を「下千間堀」と呼んでいたことが判明しました。

下千間堀の増林地区の流路に関しては、【越谷リバーウォーク ガイドブック】誌上ミニ講座①「こしがやの川」に掲載されています。

秦野氏は「定使野地区（定使野橋から宮野橋の間）」の流路変遷についても述べており、明治十三年の迅速測図の測量時には、葛西用水（逆川）を伏せ越した後、直線的に南下する現在の流路ではなく、東側に回り込み、前述した「宮の道」に沿いながら南下、現在の宮野橋付近に至る流路であったと述べています。今は古道にその名残はあるものの、河道は埋め立てられており当時を偲ばせるものは残っていません。以前この地にあった「梅光院」という寺院の勢力が強く、その意向により河道を真っすぐ直道化したとの言い伝えがあります。



上(戦前)・中下(昭和 50 年代)



釣りを楽しむ人(昭和 10 年頃)



定使野橋(昭和 10 年頃)



宮野橋(現在)



定使野橋(現在)